

放送問題用のメモらんとしてつかいなさい

一 放送による問題

はじめは放送による問題です。放送の内容は、夏子さんと春男君のきょうだい  
が二〇二〇年に開催される東京オリンピック・パラリンピックに向けたスポーツ  
の取り組みについてお父さんと話をしている様子です。放送を聞いて、次の各問  
に答えなさい。(放送は一度だけです。放送中にメモをとってもかまいません。)

問1 会話の中で、スポーツ実施率をどんな割合だと説明していましたか。解答  
らんの                      の割合                      にあてはまることばを入れて説明を完成させな  
さい。

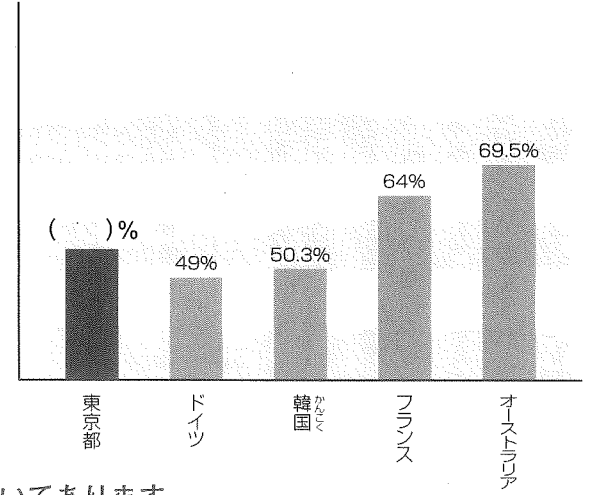
問2 【1のグラフ】の (            ) %にあてはまる数字を書きなさい。

問3 【1のグラフ】と【2のグラフ】はどのようなタイトルがふさわしいですか。  
最もふさわしいものを次のアからカの中からそれぞれ一つずつ選び、その記  
号を書きなさい。

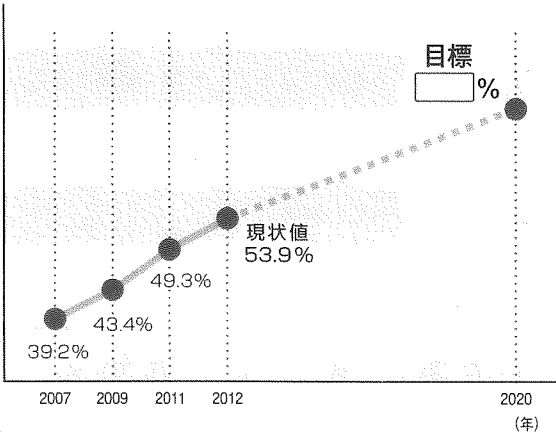
- ア 東京都の青少年の部活動加入率の推移
- イ 東京都のスポーツ実施率の推移
- ウ 東京都と主要国におけるスポーツ実施率
- エ 東京都と主要国の青少年のスポーツ実施率
- オ 主要国のスポーツ実施率の推移と目標
- カ 東京都のスポーツ実施率の推移と目標

問4 【1のグラフ】と【2のグラフ】で、東京が目標としているスポーツ実施  
率は何%ですか。また、その実施率に最も近い国はどこですか。国名を書き  
なさい。

【1のグラフ】



【2のグラフ】



縦の目もりは省いてあります。

「東京都スポーツ推進計画 (概要)」 (2013年 東京都) より作成

二 次の文章を読んで、後の各問に答えなさい。

特定外来生物、ブラックバス

いまやブラックバスは全国にいます。いない都道府県はありません。これはバス釣りが好きな人にとってはうれしいことでしょうが、そのために多くの湖沼や河川で在来魚とその卵が食べられ、数をどんどん減らしています。とくに湖や沼では事態は深刻です。

たとえば滋賀県にある琵琶湖は世界で三番目に古い湖で、ホンモロコ、ビワヒガイ、イサザ、ニゴロブナなど、独自の進化をとげて、その場所にしかない「固有種」と呼ばれる魚がたくさんいます。けれど、そうした貴重な魚たちがブラックバスの影響で数をめっきり減らしました。

じゃあ、なぜそこまでブラックバスが広がったんだと思いますか？魚が勝手に泳いでいった？まさか。淡水の魚だから海において、別の川や湖に行くなんてこともできません。

そう、だれかが①したのです。ある湖では食用のために。ある沼では釣りを楽しむために。とくにブラックバスの場合、釣っておもしろいものだから釣り人がこっそり放したことが大きな原因だとされています。

あまりのひ害の大きさに、二〇〇五年（平成一七年）、ブラックバスは国の法律によって「特定外来生物」に指定されました。

これによりブラックバスは釣った場所から移動が禁じられました。釣れてしまったら殺すか、釣れた場所にもういちど放すしかありません。ほかの場所に持ちこむことはもちろん、家に持ち帰って飼うこともできません。

もしこの法律を破ったら、個人であれば三〇〇万円以下の罰金、または最大三年間も刑務所に入ることになります。

「えっ、そんなにきびしいの？」とおどろくかもしれません。でもそれは外来種問題がどれほど深刻か、日本の生き物たちにどれほど重大な影響をあたえているかのあらわれなのです。

こわされる日本の生態系

テレビなどで「タマゾン川」としてときどき取り上げられるせいか、多

を鳥が食べ、鳥はより大型の鳥やイタチなどのほ乳類に食べられる。

くさりのようにつながっているこうした関係を「食物連鎖」といいます。生き物が生きる環境は、そうした食物連鎖に加え、その場所の地形、水質、気候などが複雑にからみあって成り立っています。その全体のシステムが生態系です。

生態系は気の⑤のような時間をかけてつくられたものなので、上手にバランスがとれています。食べられすぎたり、環境に適応できなくて絶滅する種はいません。

けれど、そこに突然ほかの場所からやってきた生き物、つまり外来種が入るとどうなるでしょうか。たとえば日本のフナはブラックバスといっしょにくらせるようには進化していません。同じ場所になれば、食べられ、数を減らすでしょう。そうやってフナがすくなくなれば、こんどはフナのエサであったプランクトンや昆虫などが逆に数を増やします。そのことでこの先、どんな影響があるのか。

じつは外来種が生態系にあたえる影響はとても複雑で、予測ができません。ただ、永い時間をかけてつくられてきた日本の自然が、外来種によって、いま急激に変えられようとしていることだけははっきりしています。ブラックバスがやってきたのが約九〇年前。これほど全国に広まったのは、たかだか二〇年前です。いまなんとかくい止めなければ、将来、取り返しつかないことになる。

わたしがそう言うとき、ときどき「外来種のほうが強いのなら、入れかわってもいいんじゃないか」という人がいます。

いや、それはあつてはなりません。日本で進化をとげてきた生き物でなければ結局、環境と共存できないのです。

いちばんわかりやすいのがブラックバスのいる池です。ため池など、外から生き物の出入りがほとんどない場所だと、ブラックバスは在来種を完全に食べつくします。魚だけでなく、ヤゴなどの水生昆虫もつかまえ、ほかにエサがなくなると、こんどはブラックバス同士での共食いです。

そうなる時、そこは最終的にブラックバスさえいない池になる——多様な生き物のくらしが失われた環境は、死そのものです。

特定外来生物とは？

海外からやってきて、日本の生態系や人間にひ害をあたえる生き物のこと。それらは「外来生物法」という法律によって、飼育・栽培すること、野外に放つこと、だれかにあげたり売ったりすることなどが禁じられています。

特定外来生物に指定された魚類  
(2012年6月現在)

- アメリカナマズ (チャネルキャットフィッシュ)
- ノーザンバイク
- マスキーバイク
- カダヤシ
- オオクチバス
- コクチバス
- ブルーギル
- ストライプトバス
- ホワイトバス
- ヨーロピアンパーチ
- バイクパーチ
- ケツギョ
- コウライケツギョ

摩川の② 外来魚問題に興味を持つ人が増えていきます。あるとき、わたしのところに小学校四年生のグループが話を聞きにきてくれました。

「多摩川に外来魚がいると、どんな影響がありますか？」

最初に質問してくれたのは元気な女の子です。

「そうだね、その魚が肉食魚であれば、卵もふくめて在来種が食べられるという問題がおきます。同じエサを食べる場合はエサのうばい合いがおきるし、すみかが同じ場合そのうばい合いもおきます」

「アマゾンの魚もいますか？」

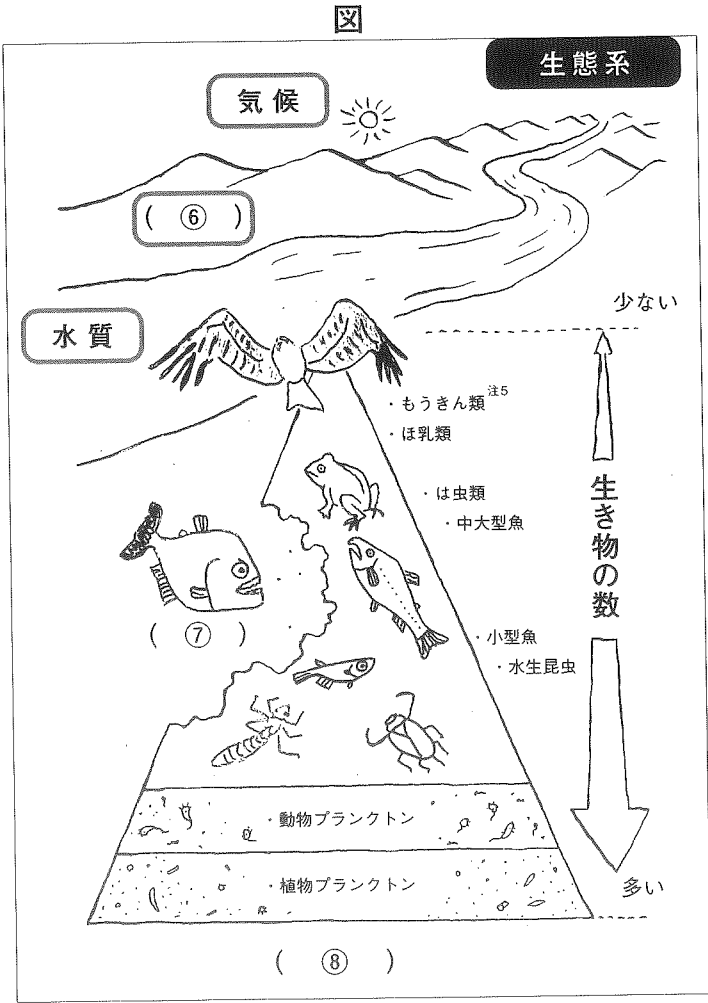
「いろんな種類がいます。アロワナ、ガーバイク、みんなもよく知っているピラニア。肉食魚だからフナやクチボソなんかを

食べます。あと、アマゾンの魚じゃないけど、ブラックバスもすく多いいんだ。そうやって③ 外来魚が増えたら、魚だけじゃなくて、ほかの生き物にも困ったことがおきます。どういうことかわかるかな？」

わたしが逆に質問すると、ひとりの男の子が「外来魚が食べる魚をエサにしていた鳥も数を減らすんじゃないかな」と答えてくれました。

「そう、それを④ 生態系のバランスがくずれるといいます」

生態系というのはちよつと説明がむずかしい言葉です。生き物にはまず「食べる・食べられる」という関係があります。川を例にとれば、水中のプランクトンを昆虫が食べ、その昆虫を魚が食べ、その魚



人間の無知と身勝手さがうんだ川

ブラックバスのひ害をなんとか減らそうと、いま、全国で駆除がおこなわれています。

方法はいろいろです。網でとる、産卵した卵をとる、池から水をぬく……いずれにせよ駆除というのは、つまり、つかまえていのちをほうむりさることです。

わたしも駆除を否定しません。いまやブラックバスがあたえる影響はあまりにも大きすぎます。

でも、やっぱり複雑な気持ちです。ブラックバスに罪はありません。彼らは好きこのんでこの国にやってきたわけじゃないし、全国に広がったのは人間が勝手に放流したから。なのに、目の敵にされていのちをうばわれるのは、ブラックバスにしてみたらあまりに⑨ 理不尽です。

タマゾン川のほかの外来魚も同じです。

アロワナやピラニアは遠い国からわざわざ海を渡ってきたわけじゃない。だからが飼っていて、なんらかの理由で多摩川に放したのです。するとそれはやはり外来魚として、多摩川の自然をこわす「悪者」にされてしまう。

ペットとして外国から輸入される魚は、なんと年間約五〇〇〇万匹にもほります。いまはお店で買わなくても、インターネットを使えば個人でもめずらしい魚がかんたんに手に入る。だから実際の数はそれ以上でしょう。

そうやって買った魚たちを、いのちの終わりまでめんどうをみるならなんの問題もありません。

⑩でも、そうじゃないんだね。

もういないって、もう飼えないって、捨てる人たちが大勢いる。

その結果が⑪タマゾン川なのです。

(山崎充哲『タマゾン川 多摩川でいのちを考える』より)

注1 ブラックバス：北アメリカ原産の魚の名前。

注2 ホンモロコ・ピワヒガイ・イサザ・ニゴロブナ：在来生物の名前。

注3 アロワナ・ガーバイク・ピラニア：外来魚の名前。

注4 フナ・クチボソ：在来魚の名前。

注5 もうきん類：鳥やけものなどを主食とする鳥類の総称。

問1 ①(1)にあてはまることを本文中から探し、漢字二字で書きなさい。

問2 ②外来魚とありますが、外来魚は特定外来生物の一つです。特定外来生物とはどんな生き物のことですか。文末が「生き物。」になるように二十五字以内で書きなさい。

問7 ⑨「理不尽」とありますが、その意味を次のように説明したい。にあてはまる二字の熟語を書きなさい。ただし一字は「理」の文字を使いなさい。

理不尽……に合わない。

問8 ⑩でも、そうじゃないんだね。の「そう」とはどんなことを指すか、本文中から十六字で探し、ぬき出して書きなさい。

問9 ⑪タマゾン川について、次の(1)・(2)に答えなさい。

(1)「タマゾン川」とは多摩川と何という川とを合わせて筆者がつくったことばか。解答らんに合うように書きなさい。

(2)「タマゾン川」や、「悪者」にされてしまう」という表現から、どのような筆者の意図が読み取れるか。文末が「が読み取れる。」になるように書きなさい。

問10 この文章の持ちようとしてふさわしくないものを次のアからエの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア 読者に語りかけるような書き方をすることで、この川について考えてもらおうとしている。

イ 多摩川と他の川の様子を比べることで、外来魚が及ぼす問題について説明している。

ウ 自分の考えへの反論を取り上げることで、多摩川の問題の深刻さを伝えようとしている。

エ 魚の名前を挙げたり筆者の体験を書くことで、川の様子を読者に想像しやすくしている。

問3 ③外来魚が増えると、魚だけじゃなくて、ほかの生き物にも困ったことがおきます。とありますが、本文で挙げられている「困ったこと」にあてはまらないものを次のアからエの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア 在来種が外来魚に食べられたり、すみかのうばい合いが起きたりする。

イ 外来魚と同じエサを食べる在来魚との間でエサのうばい合いが起こる。

ウ 法律を破って在来魚などを家に持ち帰ってこっそり飼う人が増える。

エ 外来魚が食べる魚をエサにしていた鳥が数を減らす可能性がある。

問4 ④生態系とありますが、生態系の説明としてあてはまらないものを次のアからエの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア 自然の様々な条件や気候などが複雑にからみあつて成り立っている。

イ 長い時間をかけてつくられており、上手にバランスがとれている。

ウ 「食べる・食べられる」という関係で全体がくさりのようにつながっている。

エ 外来種と環境が複雑に影響しあつてバランス良く成り立っている。

問5 ⑤(5)に入ることばとして最もふさわしいものを次のアからエの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア 遠くなる イ しずむ ウ 引ける エ 長くなる

問6 図の中の(6)・(7)・(8)にあてはまることばを本文中から探し、それぞれぬき出して書きなさい。ただし、(8)には生き物の「食べる・食べられる」の関係を表す語句が入ります。

三 次の(1)・(2)の問題に答えなさい。

(1) 花子さんたちは国語の授業で短歌を作ることになりました。次の「授業の様子」を読んで後の各問に答えなさい。

〔授業の様子〕

先生 「今回は、思いついた短歌にしたい内容を、まずふつうの文章で表し、それを短歌の形にあわせて整えていくやりかたで作ってみます。例を示しますね。」

例文 「この味がいいね」と君が言ってくれた日だから、七月六日はわたしにとってサラダ記念日なの。

先生 「こんなふう考えたことや感じたことなどをふつうの文章で表してみます。実は、この例文は、俵万智さんという作者の短歌をふつうの文章にしたものです。これを短歌の形にしてみましょう。」

太郎 「できた。『この味がいいねと君が言ってくれたから七月六日はわたしの記念日』というのはどうかな。」

花子 「なんだか短歌っぽくなってきたけど、『君が言ってくれたから』のところや、『わたしの記念日』というところが短歌の形より音の数が多いんじゃないの。それに『サラダ記念日』っていう言い方を入れられないかな。」

太郎 「そうか A になっちゃったね。じゃあ、『この味がいいねと B 七月六日はサラダ記念日』だったらどうかな。」

花子 「それなら音の数もぴったりね。なんだかすてきな短歌になったわ。先生、どうですか。」

先生 「上手にできたね。短歌を作るコツがつかめてきたね。では、こんどは自分で短歌にしたい思いや感じたことをふつうの文にして、短歌の形にしていってみましょう。」

問1 ①短歌の形とありますが、短歌の約束事のひとつである形式(音の数)を解答らんの□□□□□□□□□□にあうように書きなさい。

問2 ②短歌の形より音の数が多いとありますが、このことを何と言いますか。 A にあてはまる言葉を書きなさい。

問3 B にあてはまるように例文の言葉を使って(例文と同じような意味を表せるように)短歌を完成させなさい。

(2) 太郎さんが考えた「放送原稿」について、後の各問に答えなさい。

放送委員会では、お昼の校内放送で春の体育大会を盛り上げる放送番組を行うことになりました。太郎さんは、応援合戦を盛り上げるために放送原稿を考えてくるように言われました。次の文章は太郎さんが考えた放送原稿の一部です。

〔放送原稿〕

みなさん体育大会の準備は進んでいますか。今日は応援合戦を取り上げたいと思います。

わたしたちの体育大会では赤・青・緑・黄色の四色のチームがリレーなどのきょうそうを行うだけでなく、各チームで応援合戦の集団えんぎを行います。

放送委員会では、各チームの団長さんに、今年の応援について取材したので紹介します。

まず、赤組です。赤組は、「真っ赤に燃える火の鳥」というテーマで、応援を行います。赤組では、みんなでアイデアを出し合い、グラウンドに火の鳥がキラキラと舞う様子を表現してみせます。チーム全員の力をけっしゅうして創造した火の鳥の舞いを楽しみにしてください。

次は青組です。青組では……(以下略)

太郎さんが放送委員の上級生に原稿を見てもらうと、三年生の健太さん、よしさんがアドバイスをくれました。

健太さん：「初めてにしてはともしっかりした原稿だね。」きょうそう「えんぎ」けっしゅうの部分は、読みながら自分でバツと意味がわかるように漢字に直しておいた方が良くと思うよ。」

よし子さん：「もう一か所。ほらこの言葉、同じ読み方で別の熟語があるでしょ。文字で見ると意味がわかるけど、声に出して読むと、ちがう意味に受け取られるかもしれないわね。」耳で聞いてわかる言葉に直せないかしら。」

問1 健太さんのアドバイスのとおり、「きょうそう」、「えんぎ」、「けっしゅう」を漢字で書きなさい。

問2 よし子さんが指摘した「この言葉」を、よし子さんのアドバイスの通り、同じ意味で耳で聞いてわかる言葉に直しなさい。ただし五字以内の言葉に直すこと。

# 国語

## 答案用紙

※ていねいな正しい文字で書きなさい。

一の問題の答え

問 4	問 2	問 1
%	%	
国名	問 3 1のグラフ	問 1  の割合
	2のグラフ	

二の問題の答え

問 10	問 9	問 8	問 7	問 6	問 3	問 2	問 1
	(2)	(1)	理不尽……	⑥			
			に合わない。	⑦	問 4		
	川			⑧	問 5	生き物。	
		。と。					

が読み取れる。

三の問題の答え

(1)

問 3	問 1
	問 2

(2)

問 2	問 1
	①
	②
	③

受 検 番 号